

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年9月18日(2014.9.18)

【公開番号】特開2014-23877(P2014-23877A)

【公開日】平成26年2月6日(2014.2.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-007

【出願番号】特願2012-168997(P2012-168997)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月31日(2014.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示部に演出を表示可能な表示装置を備える遊技機において、

前記表示部を画成する縁部から中央部側に向けて進退移動可能で、縁部側に位置して表示部を前側から視認可能な第 1 位置および表示部と前後に重なった部分を前側から視認不能に覆う第 2 位置の間を移動可能な複数の可動体と、

前記複数の可動体の少なくとも 1 つの可動体に形成されて前後に開口して、該可動体が第 2 位置にある状態では表示部の前側に臨む開口部とを備え、

前記複数の可動体が第 2 位置に移動することで、表示部の略全体が前側から視認不能に覆われると共に前記開口部を介して表示部の一部が前側に露出して視認し得るように構成した

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記開口部は、第 2 位置から第 1 位置に向かう側に開口して、該開口部が形成された前記可動体が第 1 位置にある状態で該可動体を移動させる駆動手段が開口部の開口内に位置するよう構成した請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

表示情報を前記表示部に表示させる制御手段を備え、

前記表示部には、前記複数の可動体が第 2 位置に移動した際に覆われる第 1 表示領域と、前記開口部が形成された可動体が第 2 位置に移動した際に該開口部に臨む第 2 表示領域とが設定され、

前記制御手段は、第 1 表示領域が視認可能な状態で、該第 1 表示領域に表示情報を表示させ、第 1 表示領域が前記複数の可動体で覆われた際に、該第 1 表示領域に表示している表示情報を前記第 2 表示領域に表示する請求項 1 または 2 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 1 】

この発明は、表示装置を備えた遊技機に関するものである。

## 【 手続補正 3 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 0 6

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

## 【 0 0 0 6 】

すなわち本発明は、従来の技術に係る遊技機に内在する前記課題に鑑み、これを好適に解決するべく提案されたものであって、表示装置の表示と可動体の動作とによって遊技の興趣を向上し得る遊技機を提供することを目的とする。

## 【 手続補正 4 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 0 7

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

## 【 0 0 0 7 】

前記課題を克服し、所期の目的を達成するため、本願の請求項 1 に係る発明は、

表示部(H1)に演出を表示可能な表示装置(H)を備える遊技機において、

前記表示部(H1)を画成する縁部から中央部側に向けて進退移動可能で、縁部側に位置して表示部(H1)を前側から視認可能な第 1 位置および表示部(H1)と前後に重なった部分を前側から視認不能に覆う第 2 位置の間を移動可能な複数の可動体(43,53,61,71)と、

前記複数の可動体(43,53,61,71)の少なくとも 1 つの可動体(61)に形成されて前後に開口して、該可動体(61)が第 2 位置にある状態では表示部(H1)の前側に臨む開口部(64)とを備え、

前記複数の可動体(43,53,61,71)が第 2 位置に移動することで、表示部(H1)の略全体が前側から視認不能に覆われると共に前記開口部(64)を介して表示部(H1)の一部が前側に露出して視認し得るように構成したことを要旨とする。

## 【 手続補正 5 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 0 8

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

## 【 0 0 0 8 】

請求項 1 の発明によれば、複数の可動体によって表示装置における表示部の略全体を覆っても、表示部の表示を可動体の開口部を介して遊技者に視認させることができる。すなわち、可動体の開口部を介して視認し得る表示を遊技者に注目させることができ、興趣の向上を図り得る。

## 【 手続補正 6 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 0

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

## 【 0 0 1 0 】

請求項 3 に係る発明では、

表示情報を前記表示部(H1)に表示させる制御手段を備え、

前記表示部(H1)には、前記複数の可動体(43,53,61,71)が第 2 位置に移動した際に覆われる第 1 表示領域(H1a)と、前記開口部(64)が形成された可動体(61)が第 2 位置に移動した際に該開口部(64)に臨む第 2 表示領域(H1b)とが設定され、

前記制御手段は、第 1 表示領域(H1a)が視認可能な状態で、該第 1 表示領域(H1a)に表示

情報を表示させ、第 1 表示領域(H1a)が前記複数の可動体(43,53,61,71)で覆われた際に、該第 1 表示領域(H1a)に表示している表示情報を前記第 2 表示領域(H1b)に表示することを要旨とする。

請求項 3 の発明によれば、可動体の動作前に第 1 表示領域に表示されていた表示情報を、可動体が動作して第 1 表示領域が覆われた状態でも可動体の開口部を介して視認することができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 1】

1 0 遊技領域, 4 3 第 1 装飾部材(可動体), 5 3 第 2 装飾部材(可動体)  
6 1 第 3 装飾部材(可動体), 6 2 A 第 3 駆動モータ(駆動手段), 6 4 開口部  
7 1 第 4 装飾部材(可動体), D 遊技盤, H 図柄表示装置(表示装置),  
H 1 表示部, H 1 a 第 1 表示領域, H 1 b 第 2 表示領域